



# 健康寿命の延伸を、 効率よく実行するには

佐藤 信男 議員

## スポーツ・文化などの活動に 積極的に参加

市長



▲早期発見に役立つ集団がん検診の車両

健康寿命を延ばすための施策は、10年、20年先を見据えて考える必要がある。がん検診・特定健診・健康なまちづくり事業についての将来的な取り組みは。

**健康福祉部長** がん検診は、受診率を向上させ、精密検査が必要な方が確実にかつ早期に精密検査を受け、早期発見につなげ、検診の効果を高める取り組みを進める。特定健診は、未受診者に対する受診勧奨による受診率の向

上、生活習慣病の前段階のメタボリックシンドロームの予防並びに生活習慣病の重症化の予防に努める。健康なまちづくり事業は、運動習慣者の増加、野菜の摂取及び健康になるための食事の知識の普及に努める。

**健康寿命の延伸は、市民が自分の健康を自分で守っていく気持ちが一番基本になる。速やかに、かつ効率よく実行されるには何が必要か。**

**市長** 市民一人ひとりが、

みずからの健康状況、状態を知ることがまずは重要だ。そして、対策を講じること。また、スポーツ・文化などさまざまな活動に積極的に参加することによって、より充実した日々を過ごすことだ。

**市が目指すべき職員像やビジョンは**

職員は、市民から信頼され、困ったときに相談できる、また頼りにされるような職員であってほしいと強く願うが、市として目指すべき職員像やビジョンは。

**企画政策部長** 愛西市職員人材育成基本方針の中で、みずから考えみずから行動する職員、チャレンジ精神あふれる職員、市民と協働する職員、行政経営感覚を持つ職員、政策形成能力を有する職員、気遣いできる職員、6項目を定めている。今後は、人としてできる業

務、対人能力、コミュニケーション能力などを備えた職員の育成に努める。

**職員の能力や実績等を的確かつ公平に評価、把握し、一層の適材適所への人事配置や給与の面での処遇の改善を図ることにより、職員のやる気、チャレンジ精神を導き出すことを目的として人事評価は進めるべきだと考えるが、現在の人事評価は。**

**企画政策部長** 能力評価と業績評価の2種類を実施。能力評価は、職名ごとに、企画、育成指導、知識など10項目の評価要素を定め、各評価要素とも5段階の評価基準に基づき絶対評価を行っている。

業績評価は、組織目標や部課長方針に基づき、各自が年度当初に所属内の実施すべき目標を立て、その成果により5段階で評価している。